

## 第98回 日連金剛山ハイキング

東邦化成(株)(第5支部) 高橋 朗

2020年12月20日 快晴

2020年12月20日にハイキング同好会での活動は、宝山(標高374m)から日連山(標高384m)を抜け、杉峠を經由し日連金剛山(420m)を縦走する行程です。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクはもちろんの事、消毒用アルコールの準備、行動時は密集、密接、密室の3密を避け、少数人数での開催となりました。

集合時間9時40分JR中央線藤野駅。快晴、気温は-2℃。今回は、弊社磯部、石井さん、山本さん、大井さん、私高橋の5人での出発になる予定でしたが、幾つかのハプニングがあり、3名での出発となりました。

弊社磯部は、列車の遅れから、乗換予定の列車に接続ができず、30分程の遅れが出てしまい、到着次第日連金剛山側からのスタートに変更し、罰金コースとなりました。

山本さんは、到着時間が過ぎてもお見えにならず、事前連絡も無かったので、確認をしたところ、今回のハイキング同好会が中止になっていたものと勘違いされていたようで、ご自宅におられるとの事から不参加となりました。

藤野駅よりタクシーで出発地点の日連神社迄10分程で到着。運転手にニチレンと言ったところ通じず、ヒヅレと読むことが分かりました。日連神社でまずは安全祈願をし、日連側登山口へ向かいました。その道中、道端の雑草に霜が降りており、一段と寒さを感じながらのスタートとなりました。

日連側登山口から宝山頂上へ向け出発。石井さんが先頭で登り始めました。登山口から少し進むと、緩やかな登山道に変わりました。

目印の鉄塔を過ぎ、ハイキングには丁度良い楽なコースと思いながら進んでおきますと、宝山へ向かう途中で状況が変わりました。急斜面に変わり、かつロープが設置されており、一気に山頂を目指すコースになっておりました。一気に登山らしくなり、息を切らしながら歩を進めました。道中左手に木々の隙間から相模湖、更に進むと幹の途中から折れた樹木、自然を満喫しながら宝山頂上へ到着し、小休止を取りました。

更に尾根伝いに日連山頂上を目指し出発。アップダウンをこなしながら進むこと10分程で頂上へ到着。そのままの勢いで広葉樹の尾根道を30分程進んだ所で、合流予定地の杉峠へ到着しました。到着の連絡を弊社磯部へ電話をした所、まだ到着予定場所迄30分程かかるとの事で、合流ポイントを423mの「峰」ポイント(丹沢展望可)にし、そこで昼食を取る事にしました。

そこでルートとして、①杉峠→鉢岡山→杉峠→金剛山(65分)②杉峠→金剛山(25分)の

二択として石井さんと大井さんと相談した結果、②の合流場所を直接目指す事にし、鉢岡山はまたの回の楽しみにする事にしました。木々の隙間を縫うような道を進み、金剛山に到着。ここで弊社磯部との合流を果たしました。開けた場所に長テーブル2卓が横に並んだ場所を確保しており、ここで昼食をとりました。

アルコール消毒をした後、石井さんからビールの差し入れで乾杯しました。乾いた喉に冷えたビールが最高です。石井さん、いつもありがとうございます。昼食をとり、丁度冷えてきた所に、弊社磯部の淹れた紅茶を飲み、温まりました。ごちそうさまでした。

荷物を軽くした後、そのまま下山開始。下りは急斜面＋大量の落ち葉で踏ん張りが効かず、何度も転倒をしてしまいました。落ち葉の上に足をつくと、体重をかけた時に滑ってしまいますので、岩場に足をかけておりましたが、1箇所、落ち葉の上に岩が乗っていただけの所があり、体重をかけた瞬間に滑り、急斜面と相まって危うく・・・という場面があり、酔いが一気に冷めました。その後、下山した所で丁度タクシーと出くわし、藤野駅へと戻りました。本日の行程は約8km、平均ペースは20分/km、歩数は10,567歩、消費カロリーは943キロカロリーでした。(参照:携帯電話データ)

打ち上げ場所の八王子駅で若林さんと合流。5名で会場の居酒屋「北海道」へ。場所は10人部屋を予約して頂いておりましたので、ソーシャルディスタンスを保ち、前回のハイキング同好会の打ち上げ時にボトルキープした芋焼酎で乾杯。ザンギ、石狩鍋など美味しい料理を頂きながら、楽しい時間を過ごさせて頂きました。その席で、来年以降の活動についての話もございました。2021年はコロナ禍も終息し、ハイキング同好会の活動が出来るように願うばかりです。皆様、来年もどうぞ宜しくお願い致します。